

日本における令和6年度の人権啓発重点目標

『誰か』のこと じゃない。



## 人権啓発重点目標について

### 『誰か』のこと じゃない

上の言葉は、日本での人権を守るための活動の目標です。そして右のポスターは、法務省という国の機関が作成しているものです。

この人権だよりのタイトルの脇に描かれている2体のキャラクターは、人権まもる君と人権あゆみちゃんと言い、アンパンマンの作者であるやなせたかしさんのデザインによるものです。

日本にはたくさんの人権課題があります。いじめの問題、女性に対する差別、虐待などの問題、外国人に対する差別、障がいがある方への差別、部落差別、性的マイノリティの方への差別等。



そのような人権課題に対して、無関心な人が増えたらどうなるでしょう？苦しんでいる人たちは、自分たちの苦しみに対しみんなが無関心だと、非常に悲しく思うのではないのでしょうか。

皆さんは「愛」という言葉の意味は分かりますね。では、愛の反対の意味を持つ言葉は何でしょうか？それは「無関心」と言われます。多くの方が人権問題に無関心では、解決にはなかなか向かわないでしょう。また、何かのきっかけで自分がいつ差別される側になるかもしれません。ぜひ、多くの人権課題に対し、今の自分に関係ないからではなく、その課題について調べてみるとか、解決のために自分にできることはないかな？と考えてみるとか、主体的に課題にかかわることができる「愛」のある人になってほしいと思います。そして、人々の無関心が減り、差別を許さないという雰囲気づくりをしていくことこそ、日本という国が誰にとっても居心地の良い場所になっていくだろうということが、このテーマの趣旨ではないのでしょうか。

まずは身近なところで人権チェックに書かれているようなことをやらないように意識していきましょう。そして皆さんの手で、第四中が自分だけではなく、みんなにとって居心地の良い場所になるようにしていきましょう。